

演奏を終えて振り返り交流会より



プロの先生に教えていただく機会がなかったので、ワークショップでは初めて知ることばかりでとてもおもしろかったし、楽しかったです。部活の子たちに私からも教えられるようにしたいです。来年のワークショップも絶対に参加します。

来年は受験だけどワークショップに参加したいと思いました。本当に成長して上達できたと思うし、新しい関わりも出来て本当に充実した時間だったので、このまま続けたいです。



原町一中の演奏がとても迫力があってすごかったです。初めて合わせたのに、ここまで揃うのか本当にすごいと思った。



原町の皆さんとは初めて演奏したはずなのに、まるでいつも一緒にやっているような演奏になって驚いたと同時に、自分の成長を感じられてうれしく思いました。



アルセナールが終わった後に拍手の重圧とピリブの拍手が印象に残っています。最後、パートメンバーに感謝したあと「これで最後」と思うと哀しさ感謝の気持ちが込み上げてきました。



杉並公会堂

Suginami Koukaidou

吹奏楽でつながろう、響きの街・荻窪でまた会いましょう



Point of view 私の視点最終回



早稲田大学文化構想学部
学生ボランティア

荻窪音楽祭、お疲れ様でした。春から始まったワークショップに参加し、中高生の皆さんの演奏会に向けた情熱を目の当たりにして日々身が引きしめる思いでした。皆さんの努力を最も感じたエピソードがあります。練習前、ある男子中学生に「今回の練習で上達したい箇所はある？」と聞いたときのことです。彼は黙って、答えに困った様子でした。そして、「前回の課題はもう家で克服してきました。毎回のワークショップは僕にとって練習ではなく本番の場なので、今日はその成果を指導者の方に見ていただきたいと思っている。」と言ったのです。他の学生の皆さんも、見回すと、毎回必ず次回に向けた課題を楽譜にメモして帰っていました。区民の皆さんを感動させた今年の荻窪音楽祭は、ワークショップ内での練習だけでなく、そのような皆さんの見えない努力が発揮されてこそその演奏だったと感じます。今年の音楽祭をやり遂げた皆さんが、来年より進化した演奏を披露して下さることが今から楽しみです。

新しい視点を取り入れるため大学生ボランティアにも参加してもらっています。

